

アドミッションセンター2018年度活動報告

アドミッションセンターは、センター長(兼任)と専任教員1名及び各学部(共同獣医学部を除く)から選出された主事8名で構成し、入試課とともに研究開発部門、企画広報部門、AO入試実施部門の業務を遂行している。部門ごとに2018年度の活動について報告する。

1 入学者選抜試験

1.1 志願倍率の推移

2018年(平成30年)度入試までの10年の志願倍率の推移を入試ごとに示しておく(図1～図5)。

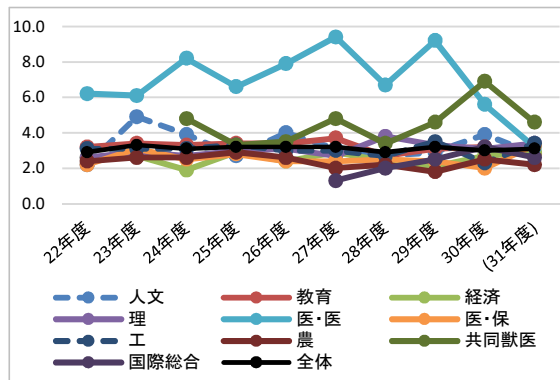


図1 前期日程

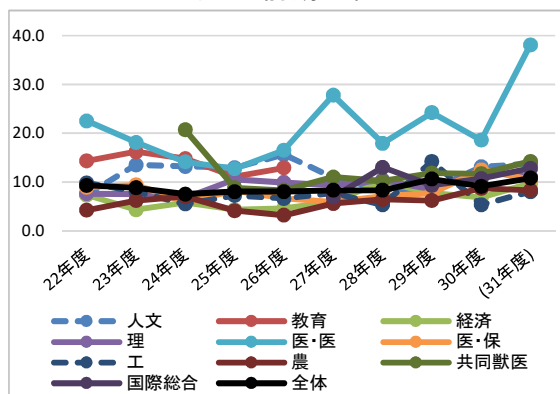


図2 後期日程

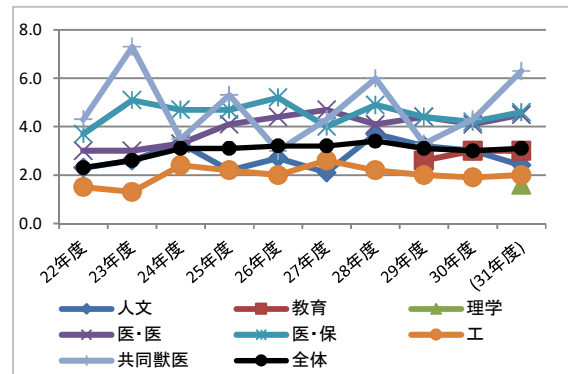


図3 推薦入試II

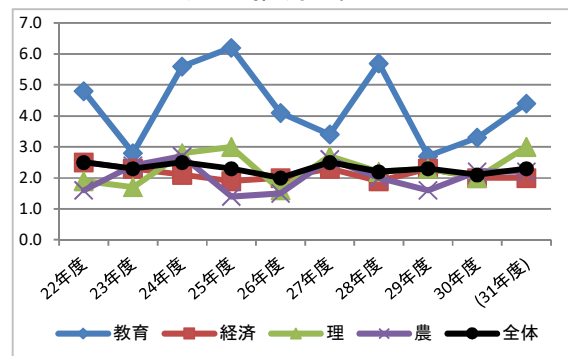


図4 推薦入試I

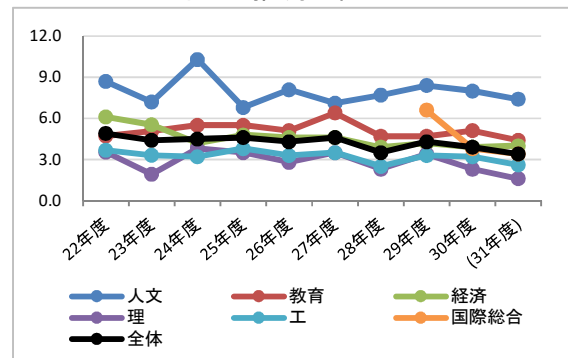


図5 AO入試

前期日程は、医学部医学科、共同獣医を除いて3倍前後を推移している。

2018年入学者の学部入学者総数は2,018人であった。入学定員1,917人を超過した。

1.2 山口大学個別学力検査

学力検査教科部会を設置し、山口大学個別学力検査の作題を行い、アドミッションセンター・入試課も加わり、チェック体制を整え、入試ミスを防いでいる。一般入試だけでなく、全ての入試の問題に対しても、同様に全学的な統括を行い、出題ミスのチェック体制を整え、出題ミスを防いでいる。

今年度実施される 2019 年度入試で入試変更を行った募集単位は、教育学部学校教育教員養成課程教科教育コース保健体育選修における前期日程 個別学力検査（実技検査）の変更、理学部物理情報科学科における前期日程 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点の変更および推薦入試Ⅰから推薦入試Ⅱへの変更である。

1.3 センター試験

1 月 19 日（土）・20 日（日）に、山口大学本部試験場、工学部試験場、岩国試験場の 3 か所で、センター試験を実施し、滞りなく終了した。

岩国試験会場は、山口大学、宇部フロンティア大学、岩国高校の共同で運営をしている。人的負担、経費負担等があり、今後も岩国試験場を維持すべきかどうか、山口大学としては検討課題としている。このことは山口県高等学校長協会にも伝えてあるが、岩国周辺地域から現状維持の熱い要望がある。

1.4 新テストに向けたプレテスト

11 月 10 日（土）・11 日（日）に、山口大学本部試験場のみで新テストに向けたプレテストを実施した。当初の予想よりも受験希望者が少なかったことから、アドミッションセンター、入試課職員のみで従事し、滞りなく終了した。

2 研究開発部門

2.1 アドミッションセンター報告書の発行

2.1.1 報告書「山口大学入学者選抜方法の現状」

山口大学のホームページ上（入試関連情報）に、過去の入試データとして 5 か年の実施状況データを掲載している。

また、入試改善に資するため、入試状況の 10 か年の推移と当該年度の入試状況について、報告書「山口大学入学者選抜方法の現状」をまとめ、アドミッションセンターホームページに掲載している。

2.1.2「大学進学時の状況に関する調査報告書」

アドミッションセンターでは 4 月に全入学者に対し、入学時調査「大学受験時の状況に関する調査」を行っている。集計分析の結果を「大学進学時の状況に関する調査報告書」として発行し、アドミッションセンターホームページに掲載している。

2.1.3「大学生活に関する調査報告書（アドミッションセンター版）」

大学教育機構として全卒業生に対して卒業時調査「卒業時の実態に関する調査」を行っている。アドミッションセンターとして独自に集計分析をし、「大学生活に関する調査報告書（アドミッションセンター版）」を発行し、アドミッションセンターホームページに掲載している。

2.2 入学者追跡調査

入学時調査、卒業時調査、入試データ、入学後の学籍データや学業成績データ等を学籍番号で連結してデータを蓄積し、入学者の追跡を行っている。これらのデータを用いて、入試改善に資するために分析を行っている。基礎的な分析結果は、2011 年入学者追跡調査報告書、2012 年入学者追跡調査報告書、2013 年入学者追跡調査報告書としてまとめ、アドミッションセンターホームページに掲載した。

2.3 入学者追跡調査の活用

2.3.1 学部等からの依頼に対応した分析

大学教育センターから依頼を受け、教学 IR 活用のための FD 研修として全学部を回り、データ分析に基づいた入試改善例を示した。

工学部より入試改善のための分析データ資料提供の依頼があり、整理して提供した。

2.3.2 入試広報への活用

独自調査に基づいて「山口大学入試 DATA BOOK」を年 2 回発行し、広報活動に活用している。また、入試広報の配布資料においても追跡調査による分析結果を資料として提供している。

2.4 研究会・情報収集

5 月 24 日から 5 月 26 日に、第 13 回全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会（於電気通信大学）にアドミッションセンター長、専任教員、入試課長が参加し、情報収集に務めた。「研究会」第 5 セッションにおいて、林寛子が「山口大学の一般入試における高校調査書活用の可能性」を発表した。

5 月 24 日、国立大学アドミッションセンター連絡会議第 16 回総会にアドミッションセンター長、専任教員が参加した。

9 月 3 日大学入試センター主催のシンポジウム「大学入学者選抜と『学力の 3 要素』」に専任教員が参加した。

10 月 16 日ベネッセコーポレーション主催の「大学入試改革研究会～多面的・総合的評価と英語 4 技能評価に対応した入試の在り方を考える～」に専任教員が参加した。

3 企画広報部門

3.1 入学者選抜業務に係る企画

3.1.1 出願システムの構築

平成 28 年度に導入された入試ネット出願

システムについて、平成 29 年度からは一般入試の出願をネット出願のみに限定して実施した。平成 30 年度以降は、特別入試もネット出願のみとした。大学院入試等にもシステムを拡充する予定である。

3.1.2 入試の実施と入試改善の検討

入試ごとに山口大学入学試験危機管理対策チームを置き、アドミッションセンター長をチームリーダーとして入学試験実施中に危機事象が発生した場合への適切な措置を講ずる体制を整えている。

入試の検討改善については、アドミッションセンター長、アドミッションセンター専任教員、学部から選出された 2 名の入試委員等で構成する入試委員会を月 1 回開催している。

各学部は入試委員会で確認された事案に基づいて、入試を実施し、次年度以降の入試改善の検討を行う。例えば、2018 年度の入試委員会では、2019 年度入試より一般入試の個別学力試験において解答例または出題趣旨を公表すること、およびその方法を決定した。

各学部の入試改善のために随時個別ヒアリングを実施し、調査分析結果に基づいたアドバイスをを行っている。2018 年度は医学部医学科、理学部生物科学科のヒアリングを行った。

3.1.3 2021 年入試改革に向けての検討

2015 年 6 月 3 日に入試改革検討 WG を立ち上げ、2021 年入試改革に向けた検討を行っている。全学アドミッションポリシーの原案策定を行い、それ以降は入試改革に関する情報共有が主体となっている。2018 年度は入試委員会を中心とした具体案策定の段階に移ったため、2018 年度は 1 回のみの開催となった。

平成 32 年度より実施される新テスト（共通テスト）の国語と数学に記述式問題が導入されることになり、本学においても一般入試（前期日程・後期日程）の受験生全員に課す方向で検討が進んでいる。

同時に、国立大学協会が掲げる「5教科7科目の原則」についても再検討を行い、この機会に国語だけでなく社会も課す等、従来5教科7科目を課していなかった学部・学科においても可能なところから見直しさらに原則に近づけていくことを方針決定した。

また、一般選抜の全受験者に英語認定試験を課すことを決定し、利用方法の検討が進んでいる。

3.2 学生募集に係る広報

3.2.1 2018年度の入試広報活動実績

山口大学主催、業者主催の入試広報は、昨年度と同様の時期及び地域で行った。詳細は表1、表2のとおりである。

表1 山口大学主催入試説明会

日	事業名	場所	参加者数
5/9 (水)	AO入試説明会(高等学校教諭対象)	山口	81
5/10 (木)	AO入試説明会(高等学校教諭対象)	福岡	107
5/16 (水)	AO入試説明会(高等学校教諭対象)	広島	96
7/4 (水)	高校教諭対象説明会	山口	57
7/5 (木)	高校教諭対象説明会	福岡	57
7/12 (木)	高校教諭対象説明会	広島	28
3/22 (金)	大学進学希望者・保護者のためのガイダンスセミナー	山口	予定

表2 業者主催進学説明会

日	事業名	主催	場所	相談者数
6/11 (月)	進学説明会	朝日新聞社(貿易広告社)	熊本	30
6/12 (火)	進学説明会	朝日新聞社(貿易広告社)	宮崎	34
6/13 (水)	進学説明会	朝日新聞社(貿易広告社)	鹿児島	16
6/14 (木)	進学説明会	朝日新聞社(貿易広告社)	佐賀	10
6/15 (金)	進学説明会	朝日新聞社(貿易広告社)	長崎	18
6/16 (土)	夢ナビライブ2018	フロムページ	大阪	86
6/20 (水)	マイナビ進学フェスタ2018	マイナビ進学	広島	58
6/5 (火)	進学説明会	朝日新聞社(貿易広告社)	福岡	43

6/6 (水)	進学説明会	朝日新聞社(貿易広告社)	北九州	48
6/7 (木)	進学説明会	朝日新聞社(貿易広告社)	大分	42
6/8 (金)	進学説明会	朝日新聞社(貿易広告社)	下関	18
7/14 (土)	全国国公立・有名私大相談会	朝日新聞社(大学通信)	大阪	48
7/16 (月)	全国国公立・有名私大相談会	朝日新聞社(大学通信)	名古屋	32
8/26 (日)	主要大学説明会	東京大学(大学情報センター)	大阪	36
8/8 (水)	主要大学説明会	東京大学(大学情報センター)	広島	72
8/9 (木)	主要大学説明会	東京大学(大学情報センター)	福岡	54
9/17 (月)	中国・四国・近畿地区国立大学合同入試セミナー	香川大学	岡山	18
9/28 (金)	大学入試説明会	北九州予備校博多駅前校 北九州予備校小倉駅前校	福岡 北九州	40 70
10/2 (火)	大学入試説明会	北九州予備校山口校	山口	82
10/20 (土)	夢ナビライブ	フロムページ	福岡	126

これに加えてさらに業者主催進学説明会18か所で資料参加を実施した。

高等学校における入試説明会にも参加し、山口県、広島県、福岡県は可能な限り訪問した。実績は表3のとおりである。訪問できなかった4校については資料参加を行った。

表3 高等学校主催入試説明会

日	事業名	主催	実施部局
5/23 (水)	高校内大学入試・入学説明会	慶進高等学校(大学新聞社)	教育工
5/28 (月)	高校内大学入試・入学説明会	萩高等学校(大学新聞社)	経済国際総合科
5/30 (水)	進路説明会	熊毛南高等学校(エフォール)	AC
5/31 (木)	高校内ガイダンス	徳山商工高等学校(さんぼう広島営業所)	経済
6/15 (金)	入試説明会	武田高等学校	AC
6/9 (土)	高校内ガイダンス	純真高等学校(さんぼう福岡支社)	経済
7/10 (火)	入試説明会	西京高等学校	AC
7/11 (水)	入試説明会	豊浦高等学校	AC

7/17 (火)	入試説明会	野田学園高等学校	AC
7/18 (水)	進路ガイダンス	山口農業高等学校 (さんぼう)	農
7/20 (金)	大学説明会	厚狭高等学校	AC
7/20 (金)	進路ガイダンス	中津東高等学校 (さんぼう)	経済
7/24 (火)	進路ガイダンス	梅光学院高等学校 (ライセンスアカデミ ー)	教育

AC:アドミッションセンター

3.2.2 2018 年度オープンキャンパス

アドミッション・オフィサー（入試課所属）1 名を配置し、オープンキャンパスの企画実施を業務の一つとしている。

2018 年は 8 月 3 日・4 日にオープンキャンパスを開催した。来場者数は以下のとおりである。

表 4 オープンキャンパス来場者数

日	学部	来場者数
8/3(金)	医 工	1,137 1,040
8/4(土)	人文・教育・経済・理・農・ 共同獣医・国際総合科	4,420

3.3 地域連携

2018 年 9 月 25 日に山口県高等学校長協会と山口大学との大学入試等研究協議会を開催した。2021 年の大学入学選抜改革について共通認識をはかるとともに、山口大学の入試変更にかかる予告内容について説明した。また、県内高等学校から山口大学への要望・質問等に対応した。

2019 年 2 月 14 日に県内進学・仕事魅力発信フェア実行委員会（山口県専修学校各種学校協会、山口県私立大学協会、大学リーグやまぐち、山口県総務部学事文書課、山口県教育庁高校教育課）が主催する 2019 県内進学・仕事魅力発信 in やまぐちに参加し、大学紹介を行う。

4 AO 入試実施部門

4.1 AO 入試の企画

入試委員会の下部組織として AO 入試実施部会を設置し、AO 入試の企画・実施・合否判定を行っている。2018 年度は 5 回開催された。2018 年度は新たな変更はなかった。

アドミッションセンターはアドミッション・オフィサーとともに AO 入試を全学入試として統括を行うとともに、書類選考、面接等を行った。

4.2 AO 入試合格者入学前教育

AO 入試合格者に対し、スマートフォンを用いた教材「英単語ターゲット 1900 ターゲットの友」を用いて、入学までに英単語を覚えることを課している。

合格者は、課題の進捗状況をアドミッションセンターに報告することになっている。アドミッションセンターからは、定期的にメールを配信し、課題への取り組みを促している。

5 現状分析と課題

アドミッションセンターは、平成 28 年度途中に専任教員がさらに減少し 1 名となった。入試課との協働によって企画広報部門、AO 入試実施部門は以前と変わることなく、2021 年度の入試改革も見据えて確実に進めている。しかしながら、具体的計画の中で企画広報や AO 入試業務が優先されざるをえないため、スタッフの不足の影響が研究開発部門において表面化しつつあり、調査研究とりわけテスト理論等の基礎研究力の充実が望まれる。

文責：アドミッションセンター長・
人文学部 教授 岩部 浩三
アドミッションセンター・准教授
林 寛子